



ネギ編

病害虫注意報 2022年2月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

育苗期～定植前おすすめ防除

黒腐菌核病対策に

バスアミド®

微粒剤

- 対象病害虫等：黒腐菌核病, 白絹病, 初アザミウマ, 初ハダカアザミウマ, 一年生雑草 等
- 使用量：20～60kg
- 使用時期：は種又は定植14日前まで

使用量は対象によって異なります。
ラベルを確認の上ご使用してください。



土壌消毒のポイント

- ① 碎土を丁寧に行う
・・・固まっている土の内部は消毒されません！
- ② 被覆を必ず行う
・・・被覆を行わないと薬剤が抜けやすくなり、表層しか消毒できません！

おすすめ定植前～定植当日処理剤

ベストガード粒剤

- ・初アザミウマ
- ・50g/セル成型育苗トレイ1箱
またはペーパーポット1冊
- ・定植当日/1回



兼商ヨーバルフロアブル

- ・初アザミウマ, ハダカアザミウマ類,
- ・200倍 灌注処理
- ・育苗期後半～定植当日/1回



ミネクトデュオ粒剤

- ・アザミウマ類, ハダカアザミウマ類,
シロイロヨトウ 等
- ・40g/セル型育苗トレイ1箱
またはペーパーポット1冊
- ・育苗期後半/1回



注意



ミネクトデュオ粒剤を使用した場合、
下記の薬剤は苗場での使用ができません!!

- ・ペリマークSC
- ・プリロッソ粒剤オメガ
- ・ベネビアOD
- ・アベイル粒剤
- ・アクタラ粒剤5
- ・アクタラ顆粒水溶剤
- ・ジュリボフロアブル

軟腐病

病原菌：Pectobacterium carotovorum
(細菌)

- ・収穫期に近づいた成株に発生が多い。
- ・葉身の展開部に水浸状の病斑を生じ、
茎盤基部が褐変し、地上部は生育不良になる。
- ・腐敗部はいずれも特有の腐敗臭を発する。
- ・土壌伝染性で、土寄せ・強風などによる葉擦れに
よって出来た傷から病原菌が侵入する。



参考画像：
玉ねぎ軟腐病

軟腐病対策に！

オリゼメート粒剤

- ▶ 植物の病害抵抗性を誘導
- ▶ 持続性に優れた効果

6kg/10a
土寄せ時
(但し、収穫30日前まで)
2回/株元散布

